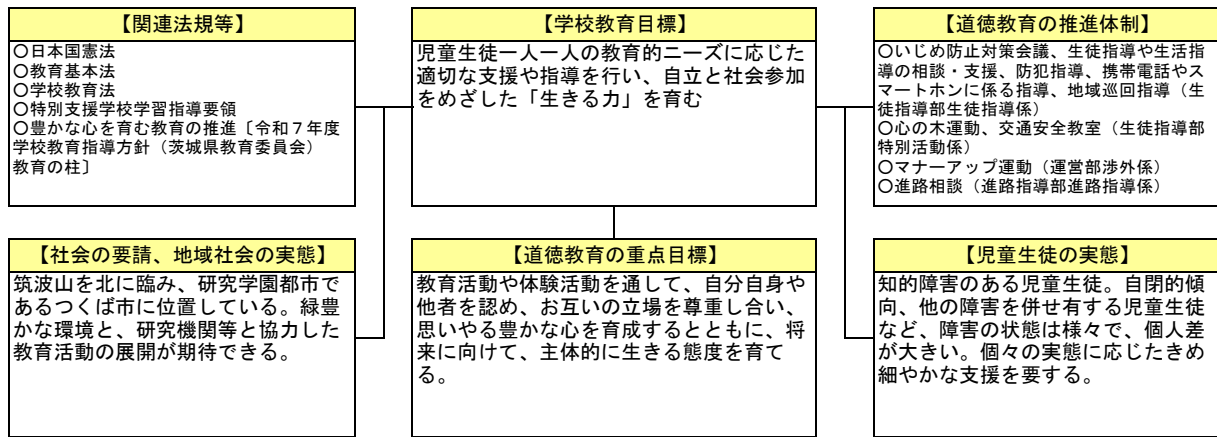


令和7年度 道徳教育全体計画

茨城県立つくば特別支援学校

令和7年4月1日

■知的障害教育部門（A部門）



【各部の重点目標】（※道徳教育に関連する箇所にアンダーライン）		
小学部	中学部	高等部
○一人一人の発達段階や特性、生活経験に応じた学習を行い、様々な学習場面で「わかった」「できた」の経験を積み重ねる。 ○健康で丈夫な体づくりを基に基本的生活習慣の習得と定着をめざすとともに、自己を表現する力や他者を認める社会性の基礎を育む。 ○将来の社会生活や自立に向けて、主体的に学習に臨む姿や、できることを増やそうとする態度を育む。	○個々の障害の特性、発達段階、生活経験に応じた学習指導を実践し、学んだ力を活用できる力を育てる。 ○基本的生活習慣の確立を図り、生活年齢に相应した行動や人とかかわる力を育む。 ○自立と社会参加への関心を高め、夢や希望、目的意識をもって主体的に取り組む力や自己決定できる力を育む。	○自立した生活を営むために、生徒の実態を考慮しながら、課題に沿った指導内容を精選し、必要な知識・技能の習得とその定着を図る。 ○社会参加を目指し、自他への理解を深め、状況の変化に適切に対応できるようなコミュニケーション力を育てる。 ○卒業後の生活をイメージして、自らの目標や課題に取り組む意欲や生きる力を育て、生徒の実態や適性に合わせた進路指導の充実を図る。

【道徳科の指導方針】	【各教科等における道徳教育の指導の方針】（※該当部に○）			
○小学部 児童が、生活の中にある道徳的価値について体験的に触れ、自分とのかかわりを考え、深められるよう支援し、内面に根ざした道徳性を養う。 ○中学部 生徒が、道徳的価値に基づいた生き方について自覚を促し深められるよう支援し、豊かな体験を通して、内面に根ざした道徳性を養う。 ○高等部 生徒が、自己探求と自己実現に努め、道徳的価値に基づいた社会の一員としての生き方について、自覚を促し深められるよう支援する。また、豊かな体験を通して自立した人間として、他者と共によりよく生きるための道徳性を養う。	各教科・科目等名	小	中	高
	日常生活の指導	○	○	・日常生活に必要な技能や態度を身に付け、自立への基礎を養う。
	生活	○		・生活を自分との関りで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする力を育てる。
	国語	○	○	・豊かな表現力、想像力、言語感覚を育て、道徳的心情や豊かな感性を育てる。
	社会		○	・地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土と歴史に対する愛情を養う。
	算数／数学	○	○	・課題に対して見通しをもち、自ら根気強く解決していく力を育てる。
	理科		○	・生命や自然を大切にする心情を育てるとともに、観察、実験などを通して問題解決の力を育てる。
	音楽	○	○	・音楽活動の楽しさや経験を生かして、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
	図画工作／美術	○	○	・つくりだす喜びや感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
	体育／保健体育	○	○	・きまりやルールを守り、友達と協力して最後まで活動する態度を育てる。
	職業・家庭		○	・自分の役割や他者との協力の大切さを知り、明るく豊かな職業生活や家庭生活を、よりよく築こうとする態度を養う。
	職業			○・地域社会の一員として、自己の職業生活の実現や生活を工夫しようとする態度を育てる。
	家庭			○・家族や地域の人々と、よりよい生活を送ることができる態度を養う。
	特別活動	○	○	・よりよい生活や人間関係を形成し、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
	自立活動	○	○	・自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとする意欲を高める。
	総合的な学習（探究）の時間	○	○	・探究的な見方・考え方を身に付け、課題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる。

